

2025 年 5 月 4 日

オーストラリア「のぞみ」新幹線構想

Australia's "Nozomi" Shinkansen Plan

～南十字星恋唄を口ずさみながら～

～with humming the Southern Cross Love Song～

捧 大地 (Daichi SASAGE)

オーストラリア東海岸、新幹線建設計画 ~豪州・日本、友好の象徴～

Melbourne～Canberra～Sydney～GoldCoast～Brisbane

メルボルン～キャンベラ～シドニー～ゴールドコースト～ブリスベン

第1 オーストラリア東海岸に「のぞみ」型、新幹線を建築する

豪州は、昔は「白豪主義」であったが、「多文化主義（マルチカルチャリズム）」に政策変更した。

現代では、住む地にも苦勞している「潜在的移民希望者」がたくさんいる。そして、その移民希望者を受け入れたいと希望しているのが豪州である。

1 豪州各主要都市間の距離と日本国内都市間の物理距離・時間距離の比較

メルボルン・キャンベラ・シドニー・ブリスベン各都市自体は、数百キロ離れており、鉄道の経営指標である「4時間の壁」を破れるか破れないか微妙なところといわれていた。

しかしながら、各主要都市間には、中小都市が点在している。そして、それらの都市を「のぞみ型」新幹線で結ぶ。そのようにすると、大・中・小・**各都市が有機的に連携**する。

<DATA (Research by the author) >

人口 (popolation) の面から見ても、

メルボルン	(Melbourne) : 5,100,000 人
キャンベラ	(Canberra) : 460,000 人
シドニー	(Sydney) : 5,200,000 人
ブリスベン都市圏 (Brisbane)	: 2,780,000 人

である。

主要都市間も

メルボルン(Melbourne)～キャンベラ(Canberra)	：(665km)
キャンベラ(Canberra)～シドニー(Sydney)	：(287km)
シドニー(Sydney)～ゴールドコースト(GoldCoast)	：(685km)
ゴールドコースト(GoldCoast)～ブリスベン(Brisbane)	：(71km)

新青森(Shin-Aomori-sta.)～東京駅(Tokyo-sta)	(714km・1 8 5 min)
東京(Tokyo-sta)～名古屋(Nagoya-sta)	(366km・1 0 0 min)
名古屋(Nagoya-sta)～広島(Hiroshima-sta)	(528km・1 3 6 min)
広島(Hiroshima-sta)～博多(Hakata-sta)	(280km・6 6min)

上記に紹介したように、日本国内と比べても、メルボルン・キャンベラ・シドニー・ブリスベン各都市間は、新幹線を建設しても、その**経済的黑字運営化**が、**強く、見込まれる**。

第2 総合ジャパントウンの建設（詳細は米国版を参照）

1 鉄道技術科学館による高速鉄道建設の機運の上昇

超高速鉄道建設機運を上昇させるため、上記各主要都市にリニアモーター技術・新幹線技術・そして豪州開拓時代の蒸気機関車技術の科学館を作る。

2 日本食文化を取り入れたより健康的な食生活による健康寿命による長寿化

その科学館を中心として、総合ジャパントウンを建設し、①日本食の良さを取り入れた新しい豪州食を展開する。そして、豪州人の食生活から、健康寿命を伸ばす。

3 新バスタブ入浴文化・公衆温泉銭湯文化の良さへの気づき

さらに、バスタブ入浴習慣・文化を根付かせることにより、お風呂文化からも健康生活文化を根付かせる。

以上のように見てくると、オーストラリア東海岸は、大中小都市が点在しており、その様子は、日本と類似している。

ということは、同地域にも、日本式新幹線の敷設が、かなりの経済的黑字化可能性をもって、期待できるということではなかろうか。

筆者も**近い将来、飛行機で、メルボルンへ飛び、豪州型新幹線を満喫したう**えで、**ブリスベンから帰国**するという「**家族旅行プラン**」が計画できるのではないかとワクワクしている。

以 上